

# 心身健全！



CAMNETでお楽しみの皆さん、いかがお過ごしですか？「心身健全！」パーソナリティの川崎医科大学衛生学大槻剛巳です。

2014年5月25日～27日、岡山コンベンションセンターにて、第84回日本衛生学会学術総会を開催しました。今月は川崎医科大学の研究ニュースに掲載した学術総会の報告を転載します。

◆◇◆◆◇◆◇◆◇◆

「凝視めれば、愛」を通して

～第84回日本衛生学会学術総会の報告～

衛生学 大槻剛巳

◆◇◆◆◇◆◇◆◇◆

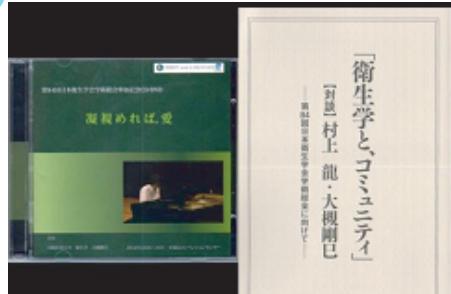
2014年5月25～27日に岡山コンベンションセンターで、第84回日本衛生学会学術総会を会長として主催いたしました。通常、日本衛生学会の学術総会は3月下旬に開催されるのですが、今年度は通常5月に開催される日本産業衛生学会の第87回大会を岡山大学公衆衛生学 萩野景規教授が主催される(5月21～25日)こともあって、「予防医学week in OKAYAMA」として連続開催と致しました。

さて、学会のテーマは「凝視めれば、愛」。既にこの段階で一風変わった装いになってしまっています。さらに学内にもポスターを掲示させていただいておりましたが、通常、その地域の名所などの写真が大会のポスターに選ばれます(連続開催の日本産業衛生学会も瀬戸大橋でした)、少女の顔写真のアップ！これらは既に前の年の大会でも披露していましたので、きっと日本衛生学会の要職に就かれていらっしゃる先生方は非常に不安を覚えられていたのかも知れません。

The poster includes the following text:  
 第84回 日本衛生学会学術総会  
 開催地：岡山県立総合病院  
 開催期間：5月25日～27日  
 大槻 剛巳 (岡山県立総合病院)  
 岡山コンベンションセンター  
 岡山市・岡山県・岡山市役所

「凝視めれば、愛」。これは、それでも大槻なりに意味を込めたのでした。『衛生学』という言葉は、文字通り「生を衛る」学術領域ということですが、対象領域によって人間や環境や健康などを取り扱っており、世の中の人々が健康の障害なく天寿を全うするようにと願う学問領域でもあります。これらの根幹にあるものは、それは「愛」でしょう。環境への、健康への、そしてすべての人々への「愛」あればこそ、「生を衛る」学問が成就していくのだと思っております。改めて、会員の皆様、ご参加の皆様と「愛」を「凝視める」ことで、衛生学の学術の発展に寄与、貢献できればという願いを込めてみました。ポスターもWebでご覧いただいている方々に、少女の見つめる視線の先に「愛」あればこそ、です』ということです。

今回、市民公開企画が2つありました。一つは、日本学術会議・日本衛生学会合同公開シンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくと健康管理」、そしてもう一つは【対談 村上龍×大槻剛巳】「衛生学とコミュニティ」で、このオリジナル対談の様子のビデオを会期中、放映し続けるとともに、そのシナリオ(実際の対談ではこれをもとにアドリブを入れながら会話をしました)の小冊子を配布いたしました。



■プロフィール／大槻剛巳(おおつき たけみ)  
 川崎医科大学衛生学教授  
 0歳：京都府福知山市にて誕生  
 14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
 14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
 15歳：倉敷市に転居  
 15&18歳：NHKあなたのメロディー出演  
 18歳：YAMAHAポップコン全国大会(譜面の部)出場  
 20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
 24歳：川崎医科大学卒業  
 以降：川崎医科大学血液内科・衛生学にて診療・研究・教育に従事  
 1992-1996年：米国留学(医学研究)  
 1996年：岡山県文學選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
 2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当  
 現在に至る

医学医療の中で「人」を凝視める時に、その「人」の社会や生活の背景まで含めて捉えないとならないことが言われ出して久しいですが、そういう観点には、文化や社会・経済を凝視める視点が必要で、それは村上氏の様な作家・随筆家のトップランナーとして30年以上も走り続けている方のご意見をこそ、我々は知るべきではないかと考えた企画でした(本当は、ロング・インタビューの筈が、「対談」になってしまいましたが)。

この小冊子とともに参加者全員に配布させていただいたのが、日本衛生学会では会長を務める前年度の大会で「次期会長講演」を行うのですが、その際に盛り上げるためにと思って製作して講演中に放映した(非公式)日本衛生学会主題歌2曲プロモーションビデオ(歌い踊る若者向けPOPな楽曲とおじさんたち向けのバラード)をいれたDVDとともに、その音源に、大槻のオリジナル楽曲を含めたベスト盤オリジナルCDの2枚組。本当に趣味の世界ですが。

そして「凝視めれば、愛」とともに、学会が近づくにつれて「リズムとハーモニーと躍動するメロディーに溢れる学会」になればいいなあという想いも募ってきました。ですので、開会宣言は初日の夕刻、市民公開シンポジウムの会場で行ったわけですが、2日目朝には開会セレモニーとして「チ・コンサート」を行いました。岡山在住の美人フルート奏者さんと一緒に大槻のピアノとのDUOで2曲演奏しました。当日は生憎の小雨模様だったのですが、雨の後には「虹の彼方に花は咲く」という選曲も良かった印象でした。



さらには懇親会！ここまで来れば懇親会でも大槻自身が演奏するしかないかってことで、かつ、どうしても懇親会での演奏は食事・歓談をしながらなので、なんとなく演奏者との距離感が生じてしまします。しかし今回は、「懇親会場をライブハウスに変身させる！」を目標に、福山で活動するすごくうまいバンドと岡山のミュージシャンと一緒に「Prof. Otsuki with the frogs feat. K15」をいうバンドでアンコールを含めて5曲。日本のPOPSで誰でも知っている楽曲をベタに選んで、集まつたださった方々が一緒に歌えるように。そして演奏者もリズムアレンジなどを凝って、playerとしても楽しめるようになってことになりました。そして…目論見通り！なんと懇親会場は本当にライブハウス状態で、重鎮たちもクラブ・ステップ・シンギング、中にはダンシングの方もいらっしゃって、その一体感は演奏者にも伝わって、とっても楽しく演奏できました。ちなみに、アンコールでは、丁度来日していたけれど体調のために公演ができなかつたあの人の健康回復を祈ってLet It Beにいたしました。

開催セレモニーのDUO、そして懇親会のバンド演奏はYouTubeにもアップしています。また衛生学教室のWEBにもリンクをつけておりますのでは是非、お楽しみください。

そうそう、もう一つ面白い企画！総合受付のロビーに「会長と一緒に写ろう」って顔出し看板を設置しました。これがまた可也好評で！まあ、こんなのが設置してある学会ってないですものね！！



そうそう、もう一つのこだわりはシンポジストや座長の先生への御礼の記念品。大槻の郷里の京都府福知山市のおとなりのイタリアン・レストラン「サリイズキッチンマーガ」さんのお菓子「寿豆南瓜」。東京や大阪での「京都菓子展」やJAL選定の通販メニューなどにも選ばれてい

るとっても美味しいお菓子で、かつ、このお店では2013年夏に大槻はピアノ弾き語りライブもさせていただいたので、そういう事情も含めた大槻からのメッセージカードも添えてお贈りさせていただきました。

あら、既に学術的な内容を記す余裕がありません。それでも終了後、「気配り」と「愛」に溢れた学会で、とっても心地良かったとのご感想も頂戴しました。ご協力、ご参加の皆様に御礼の気持ちをいっぱい込めて、稿を終えたいと思います。ありがとうございました。

